

佐賀北警察署協議会開催結果の概要

令和8年7月14日

会 議	令和8年度 第1回 佐賀北警察署協議会
開催日時	令和8年6月30日（火）15：00～16：15
開催場所	佐賀北警察署 3階会議室
出席者	○ 協議会：会長以下11名 ○ 警察署：署長以下12名 計23名
議 事 概 要	
1 開会 2 会長挨拶 本日は、佐賀北警察署長から、「佐賀駅周辺を中心とした治安対策の推進」に関する諮問が予定されていると聞いております。 佐賀の玄関口と言える佐賀駅の治安維持は重要な課題であり、佐賀を訪れる人や市民の皆様にとって安心、安全な場所であってもらいたいと思っています。 本日も皆様から活発な意見をいただき、意味のある協議会としたいと思っています。 3 署長挨拶 今年度の異動で、佐賀北警察署長に就任いたしました。 委員の皆様には、日頃から警察に対する御理解、御支援をいただき感謝申し上げます。 さて、全国的には特殊詐欺の発生件数が増加し、県内においても5月末時点で205件、8億円の被害となるなど、危機的状況にあります。 また、日本各地において闇バイトによる強盗事件が多発し、それに伴い県内でも不審者、不審車両に関する通報が増加傾向にあります。 佐賀北警察署といたしましても、このような状況に署員一丸となって対応し、安全、安心なまちづくりを目指したいと思っています。 本日は皆様から多くの御意見や御要望をいただきたいと思います。 4 概況説明 各課長から説明を実施 5 諮問 署長から、「佐賀駅周辺を中心とした治安対策の推進」について、諮問を	

受けた。

6 協議

(1) 諮問に関する協議

委員： これまで佐賀駅周辺の治安に関して、あまり気にとめていなかったが、諮問書を事前にいただき、佐賀駅周辺を昼間、夜間と見に行ってみた。

私が佐賀駅を見に行った際は、特段少年らが蛸集したり、治安が悪かった印象は無いが、時間帯の問題もあるのかもしれない。

警察： 蛸集に関する通報に基づき現場に赴くも、既に立ち去っているケースも多い。

御指摘いただいたとおり、時間や場所を変え流動的に警戒を継続していく。

委員： 今回の諮問で、佐賀駅前の治安悪化の現状や少年らの悪質性について改めて理解した。

通報の対象者に、注意指導や場合によっては検挙という手段も重要ではあるが、視点を変えて、通報者を始めとする一般の方に安心感を与えるような声掛け等の活動をされてみてはどうか。

警察： 承知した。

委員： 生活安全課長の説明で、ゆめタウン佐賀と佐賀駅で自転車盗が多発しており、犯人は少年らであることが多いとのことであったが、佐賀市外から来ている少年が多いのではないかと。

それらの隣接する学校等に広く情報提供を行ってはいかがか。

委員： P T Aの活動で見回り活動を行っているが、最近気温も高く、子ども達も外に出ていないため、しばらく見回り活動を中止しようと考えていたが、活動を継続し、ゆめタウン佐賀やラウンドワン等も見回りの対象としたいと思う。

警察： 御協力いただき感謝する。

委員： 佐賀駅は南側に目が行きがちだが、北側にも薄暗い路地等がある。防犯カメラの設置についても自治体等に働きかけてはどうか。

警察： 御指摘のとおり、駅北側にも目を向ける必要があると思う。

防犯カメラの設置については、継続して働きかけを行う。

委員： SAGAサンライズパーク等も整備され、同所においても事案が発生していると思うが、時間外の施設への立ち入り禁止など、ハード面での規制をかけるべきだと思う。

警察： 以前、SAGAサンライズパーク内のトイレで器物損壊事案が発生したが、それ以降、トイレの夜間の利用が停止された。

一般の利用者にしわ寄せがくることにはなと思うが、ハード面でも自治体や管理者等に働きかけを行いたいと思う。

委員： 以前はバイクや車が多かったように感じるが、少年らは蛸集する際、どのような交通手段で集まるのか。

警察： 蛸集する少年らは12歳～16歳の者が多く、自転車や徒歩で集まり、夜間は親が送迎しているケースもある。

委員： 学校や保護者を巻き込んで対処できないか。

委員： そもそも深夜徘徊等の少年補導とは、子どもが犯罪被害に巻き込まれないための措置であるということを保護者が認識していな

いと感じる。保護者への意識付けという角度から説明をしてみてもどうか。

警察： 引き続き、粘り強く説明を続けていく。

委員： 自転車盗については、いただいた資料の数値を見る限り、施錠されている自転車については一定の抑止効果があるようなので、現在の活動を継続して施錠意識の向上を図ることが重要と感じる。

委員： 佐賀駅前の有料駐輪設備に駐輪していても盗まれるのか。

警察： 佐賀駅前の有料駐輪設備は、「施錠」というより、有料でスペースを利用するという概念が強く、100円を機械に投入して、自分の駐輪箇所の番号を押下すれば誰でも自転車を取り出すことができるため、あくまで自分で施錠をしなければならない。

委員： 暗証番号等を入力しなければ自転車を取り出せない仕組みにするなどの対策をしなければ、防犯上意味は無いと感じる。

(2) その他質疑応答・要望等

委員： 交通事故に関して、全国的には交通事故は減少傾向だと思うが、佐賀北警察署管内は増えているようだ。

警察： 交通事故は佐賀県内でも減少傾向にあるが、当署管内と鳥栖警察署管内は増加している。

国道34号という主要幹線道路を抱えている点が原因の1つであり、「前を見よ作戦」、交通違反取締り、各種広報を継続し、事故の減少を目指したい。

委員： 闇バイトによる強盗の下見行為が佐賀県内で行われ、犯人が鹿児島県内で確保されたとのニュースを見たが、詳細について教えていただきたい。

警察： 当署でも報道等の断片的な情報しか得られておらず、犯人がそのように供述しているということしか分からない。

世間では闇バイトによる強盗事件に関する関心が高く、当署管内でも不審者や不審車両に関する110番通報が増加している。一つ一つに丁寧に対応し、確認を行っている。

委員： 佐賀北警察署が震災等で機能不全となった場合はどうするのか。佐賀北警察署庁舎は、竣工から約50年は経過しており、耐震構造等の問題があると思うが、近々建て替えの予定はあるのか。

警察： 災害時の警察署機能不全時に関しては、随時、機能移転訓練等を行い、有事に備えている。立て替えについては未定である。

委員： 災害モニターに関して、「災害が起こった箇所」又は「災害が起こりそうな箇所」どちらについて報告をすればいいのか。

警察： 両者について報告をいただければ幸いである。なお、くれぐれも災害モニターの皆様が危険を冒してまで情報収集をすることがないよう留意していただきたい。あくまで、自分のいる場所から認知できる危険の無い範囲での情報収集に努めていただきたい。

7 視察等

自転車運転シミュレーターの使用体験